



絆

学校便り No.7
令和5年10月31日
奄美市立住用中学校

『学び』で可能性の扉を開く住用中

「〇〇の秋」といえば……

校長 原 憲正

奄美群島日本復帰 70 周年記念特別国体相撲競技の部が開催された 10 月中旬。大会が終了し、力士たちがそれぞれの地に戻ると、興奮と感動で会場を包んでいた熱気も静まり、それに合わせて朝はひんやりとした空気が漂い、秋の気配が奄美でも感じられるようになりました。

秋、といえばスポーツの秋のほか、収穫の秋、食欲の秋、芸術の秋など「〇〇の秋」という言葉がよく聞かれます。

そんな言葉の一つに「読書の秋」がありますね。もともとは唐の時代に韓愈（かんゆ）という詩人が、息子に学問の大切さを説いた漢詩の一節「燈火稍可親（燈火ようやく親しむべし）」を、夏目漱石が『三四郎』という作品の中で引用したのがきっかけと言われています。涼しくなった秋の夜長は書物を開くにはもってこい、ということから 10 月 27 日～11 月 9 日を“秋の読書週間”としています。

最近ではインターネットの発達に伴い電子書籍も普及していますが、なんと大学生の半数近く、46.4%が「読書時間ゼロ」という状態です（第58回学生生活実態調査、2022年）。紙の本だけでなく電子書籍も含め、内容を限定せずマンガも含めてこの数字。読書離れが進んでいると言われるのも無理はありません。

“タイパ（タイムパフォーマンス。時間を効率的に使おうとする考え方）”がもてはやされている現代。映画を倍速で観たりまとめサイトで手っ取り早く内容をつかんだり。あまりにも多くの情報にあふれた現代社会では、タイパは効率よく情報を得るのには必要な考え方なのかもしれません。

しかし『読書する人だけがたどり着ける場所』（齋藤孝著）で述べられている通り、知識・思考力・認識力を深め、本物の教養を身に付けて心や人生を豊かにするためには、読書は欠かせません。

いつも見ているテレビやスマホから離れ、ネットやゲームに興じる時間を、じっくりと本を読む時間にあててみませんか。

きっと自分の心の深まりを感じ、「豊かで贅沢な時間を過ごしたなあ……」という気持ちにさせてくれることでしょう。

本に親しむ「アニメーション」



今年度、住用中学校では本に親しむ様々な催しを行っています。10月4日(水)には、校長によるアニメーションが行われました。アニメーションとは読書の楽しさを伝えるためや読む力を高めるための、読書に係わる一連の方法のことを指します。

今回は「つみきのいえ」という絵本と映画を題材として、監督の加藤久仁生さんと脚本家の平田研也さんが2つのメディア媒体で発表した作品を元に、様々な質問を投げかけました。子どもたちは正解を見つけようと競い合う中で、いつの間にか深く作品を味わうことにつながっていました。

この秋、図書室にはまた新刊を購入、配架します。同じ本でも誰がいつ読むかで読んだ印象も変わってきます。若く感受性に富んだ10代に、様々な本との、より深い出会いを期待しています。

奄美の自然を守る



奄美の固有種について学んだ一週間後の9月28日（木）、住用支所市民福祉課の松田さんと一緒に学校近くの役勝川の土手で、雨のため延期していた外来種駆除を行いました。毎年同じ場所で行うのは、同じ場所を経年観察する中で植生の変化を敏感に捉えるためです。胸ほどもあるうっそうとした草むらに入って外来種であるセイタカアワダチソウやシロバナセンダングサの駆除を全員で行いました。

先生のお話によると、以前に比べてセイタカアワダチソウが年々減少してきているそうです。これまでの取組の成果と思われます。

これからも未来の子どもたちが暮らす住用のために固有種保存に努めたいと思います。

豪雨！あなたならどうする？



10月20日(金)、名瀬測候所の方を講師にお招きして住用小と合同で防災教育を行いました。今回は地域の方や保護者だけでなく、支所や警察、消防といった行政機関の方々もお招きして実施いたしました。

はじめに豪雨や防災についての基礎知識を名瀬測候所の牧野さんに教えていただいた後、ワークショップ形式でグループになって話し合いました。

小中混合で地域ごとのグループを3グループ、保護者や地域の方、行政機関のグループを3グループ作り、実際に集中豪雨が起きた際、いつ、どのコースを通過して、どこに避難所に避難するか、何を持って行くかなどについて話し合い、グループごとに発表しました。またワークショップの後、住用支所の久保田貴美人さんに13年前の奄美豪雨災害で実際に体験したことをお話いただきました。

御多用にもかかわらず今回の学習において下さいました保護者や地域の方々、行政機関の方々、おかげさまで子どもたちの学習がより深いものになりました。本当にありがとうございました。

お弁当を大切に包みます



毎年2学期に校外で行われる『ふれあい体験学習』に生徒はお弁当を自分で作って持参しています。

今年は12月15日(金)に予定されています。家庭科では今そのお弁当を入れて持って行くための袋を作っています。丁寧に仕上げ持って行くのが楽しみです。

校内英語スピーチコンテスト



10月14日(土)、校内英語スピーチコンテストが開催されました。当日は生徒全員が自分の夢や目標、好きなことなどを英語で堂々と発表しました。日頃の学習の成果を披露する良い機会となりました。おいで下さいました保護者の皆様、生徒たちの励みになりました。ありがとうございました。

小・中合同学習発表会のお知らせ

日時 11月11日(土) 8時50分 開始
11時30分 終了

場所 住用中体育館

※ 中学生は三太郎太鼓、三味線での稲すり節、六調、竿踊り、弁論、英語スピーチ展示等を行う予定です。

子どもたちが日頃の学習の成果を発表します。

どなたでもご自由に参観で

きます。子どもたちもい

っそう頑張りますので、

たくさんの方にご覧いた

だきたいと思います。皆様お誘い合わせの上、住

用中学校の体育館において下さい。お越しの際には、

体育館横のグラウンド、草地の所に車をお停

めいただけます。



11月の主な行事

11/ 1 (水) 地域が育む『かごしまの

～7日(火) 教育』県民週間

(学校自由参観週間)

11/ 3 (金) 文化の日

11/ 7 (火) 学校評議員会・給食試食会

PTA役員会 18:00～

11/ 8 (水) 奄美市音楽発表会

11/11 (土) 保小中合同学習発表会

(8:50～、住用中体育館)

11/14 (火) 日本復帰記念奄美市中学校

弁論・英語スピーチ大会

11/23 (木) 勤労感謝の日

11/28 (火) 授業参観・学校保健委員会

(学校保健委員会 14:00～、

学級PTA 15:20～)

11/29 (水) 期末テスト(12月1日まで)